



2014年11月25日

～東急電鉄と京都大学がコラボレート～

環境省「うちエコ診断ソフト」を使い、無料の省エネ提案「家庭のエコ診断」を実施  
併せて、省エネに関するアンケート調査も行います

東京急行電鉄株式会社  
国立大学法人京都大学

東京急行電鉄株式会社(以下、東急電鉄)と国立大学法人京都大学(以下、京都大学)は、次世代郊外まちづくりのモデル地区である東急田園都市線たまプラーザ駅北側地区(横浜市美しが丘1～3丁目)で、12月5日(金)から、専門的な知識を持った診断員が無料でご家庭のエネルギー使用状況を診断し、ライフスタイルに合わせたオーダーメイドの省エネ対策を提案する「家庭のエコ診断」を実施します。診断は、今年度環境省が創設した家庭エコ診断制度を活用し、同省の「うちエコ診断ソフト」を用いて行います。また、これに併せて京都大学大学院経済学研究科依田高典教授(※)による「省エネ機器や電気料金プランなどに関する認知と行動に関するアンケート調査」を実施します。

本取り組みは、一般家庭の省エネ行動の傾向を明らかにするとともに、実際に家庭で省エネ行動を起こすための効果的な情報提供方法を検討することを目的としています。同地域では次世代郊外まちづくりの一環として、昨年6月から、各家庭での省エネから地域全体での節電・省エネ意識の向上を目的とした「家庭の省エネプロジェクト」を2度実施し、同年9、10月には環境省の委託事業として「家庭のエコ診断」を実施したこと、地域住民の省エネに対する意識が高いことなどから、京都大学の委託を受け、次世代郊外まちづくり「スマートコミュニティ推進部会」が実施するものです。東急電鉄は、今回の取り組み成果を、横浜市と一緒に取り組んでいる次世代郊外まちづくりに活用していく予定です。

「家庭のエコ診断」および「省エネ機器や電気料金プランなどに関する認知と行動に関するアンケート調査」の概要は、別紙のとおりです。

※依田高典教授

1965年、新潟県生まれ。1989年、京都大学経済学部卒業、1995年、京都大学大学院経済学研究科修了、博士(経済学)。現在、京都大学大学院経済学研究科教授。その間、イリノイ大学、ケンブリッジ大学、カリフォルニア大学客員研究員を歴任。人間の経済心理の限定合理性に着目しながら意思決定を定量的に分析する、行動経済学を専門としている。最近では、スマートグリッドなどを題材に、社会の実際の生活の中で仮説検証を行うフィールド社会実験と呼ばれる手法を用いて、さまざまな経済効果の計測を行っている。著書に、『ブロードバンド・エコミクス』(日本経済新聞出版社、2007年3月)など。

以上

(別紙)

## 家庭のエコ診断および「省エネ機器や電気料金プランなどに関する認知と行動に関するアンケート調査」の概要

### 1. 目的

- (1)「家庭の省エネプロジェクト2014」参加者を中心とした地域住民への診断実施により、地域の省エネルギーの機運を高める
- (2)アンケート調査を同時実施し、一般家庭のエネルギー使用状況と省エネ行動についてのデータ取得および分析を行う。
- (3)取り組み成果を次世代郊外まちづくりの推進へ生かす。

### 2. 診断概要

- (1)参加受付期間 2014年11月10日(月)～2015年2月17日(火)  
※参加受付期間は、診断実施日の10日前までです。
- (2)診断実施期間 2014年12月 5日(金)～2015年2月27日(金)  
※診断実施日は、専用サイトでお知らせします。  
※参加は先着順です。
- (3)診 断 会 場 3丁目カフェ(所在地: 横浜市青葉区美しが丘1-10-1)  
ア・ラ・イエセンター(所在地: 横浜市青葉区美しが丘2-23-3)
- (4)参 加 特 典 診断を受診し、アンケート調査および事後調査までご協力いただいた方には、2,500円分のQUOカードをプレゼントします。

### 3. アンケート調査概要

対象:「家庭のエコ診断」を受診いただいた方全員

内容: 京都大学大学院経済研究科 依田高典研究室によって作成されたもので、省エネ機器(HEMS・スマート家電)や電気料金プランなど対しての認知や、それらのサービスや機器についてのさまざまな導入政策に対して、実際の導入に結びつくかどうかを詳細に問う内容となっています。

### 4. 対象者

以下の参加条件を満たした方が対象となります。

- ・インターネットに接続できる方  
※専用サイト(<https://savepower.jp/jisedai/ecoshindan/>)にパソコンから接続し、事前登録していただく必要があります。
- ・Eメールアドレス(携帯電話・PHSは対象外)をお持ちの方

### 5. 申込から診断までの流れ

<STEP1> 受診の申し込み (診断10日前まで)

- ・「家庭のエコ診断」専用サイト(<https://savepower.jp/jisedai/ecoshindan/>)の案内に沿って、お名前、住所、電話番号、Eメールアドレスを入力の上、診断日程を予約していただきます。
- ・メールのご案内に沿って、環境省「うちエコ診断」の診断申込手続きを行っていただきます。
- ・光熱費やライフスタイルなどに関する事前調査に web サイト上でお答えいただけます。
- ・京都大学作成のアンケートが申込後、1週間ほどご自宅に届きます。アンケートにご記入の上、診断当日に会場へお持ちいただきます。

## <STEP2> 診断の受診 (受診当日)

- ・環境省認定の公的資格である「うちエコ診断士」が、1家庭につき1時間程度、お話を伺いながら「うちエコ診断ソフト」を用いて診断を行います。
  - ①事前調査に基づき、診断ソフトを用いて、ご家庭のエネルギー使用量などを平均的な世帯との比較やランキング情報でわかりやすくお見せします。
  - ②ご家庭のどこでどのくらいエネルギーが使われているのか、一緒に検証します。
  - ③各家庭に合わせ、オーダーメイドの省エネ対策を提案し、省エネ効果や光熱費の削減効果を一緒に考えます。
- ・郵送でお届けしたアンケートをご提出いただきます。
  - ・受診のうえ、アンケートをご提出いただいた方に、会場で2,000円分のQUOカードをプレゼントします。

## <STEP3> 事後調査 (診断約3カ月後)

- ・診断の際に提案した内容の実施状況などをお伺いするための事後調査に、web サイト上でお答えいただきます。
- ・ご回答いただいた方に500円分のQUOカードをプレゼントします。

## 6. 実施体制

### 【実施者】

次世代郊外まちづくりスマートコミュニティ推進部会

〔 東京急行電鉄株式会社、東京ガス株式会社、東急建設株式会社、イツツ・コミュニケーションズ株式会社 〕

### 【協 力】

横浜市

## 7. お問い合わせ先

次世代郊外まちづくり 家庭のエコ診断実行委員会事務局

T E L: 045-909-5597

E - m a i l: jisedai-eco@tkk.tokyu.co.jp

お問合せ時間: 10:00~17:00 ※土・日・祝日、年末年始(12月27日~1月4日)を除く

専 用 サ イ ト: <https://savepower.jp/jisedai/ecoshindan/>

以 上

(参考)

## 2013年実施「家庭のエコ診断」について

### <実施概要>

- (1) 診断実施日 2013年9月7日(土)、26日(木)、27日(金)、10月18日(金)、19日(土)
- (2) 診断会場 たまプラーザテラス プラーザホール by iTSCOM(田園都市線「たまプラーザ」駅徒歩2分  
たまプラーザテラスゲートプラザ北側2階)
- (3) 対象者 次世代郊外まちづくりモデル地区(横浜市青葉区美しが丘1・2・3丁目)にお住まいの方  
※環境省「平成25年度家庭エコ診断推進基盤整備事業 民間企業等試行実施事業」の委託により実施

### <実施結果>

診断実施件数 121件

### 環境省うちエコ診断ソフトによる診断の流れ



事前調査票でご回答いただいた内容に基づいて、平均的なご家庭と比べてどのくらいエネルギーを使用しているのか、確認します。



ご家庭に合わせた省エネ目標を設定します。ソフト上でシミュレーションすることにより、光熱費がどれくらい節約できるかを予測します。



ご自宅のどの場所でどれだけのエネルギーを使っているかを検証します。エネルギーが多く使われている場所をグラフや数値にすることで、一目で理解できます。



ご家庭のライフスタイルに合わせた、対策提案やアドバイスを行います。

うちエコ診断 結果レポート

調査対象： 横浜市 4人家族、21歳以下の子供がいない。

1) 診断 貴家族の環境のCO2削減量

削減量	削減率	削減率	削減率
3,460kg	0.6倍	8位	

削減量も削減率も全国平均より高いです。

1ヶ月間のCO2削減量

削減項目	削減量	削減率	削減率
電灯	91kg	2.6%	4.7%
空調	137kg	3.9%	1.8%
給湯	489kg	14.1%	8.8%
その他	1743kg	50.4%	74.7%

※1ヶ月間の削減量です。電灯、給湯、空調の削減量が削減率に大きく影響します。

CO2削減率の削減率

削減項目	削減率	削減率
1位	削減率	19.7%
2位	削減率	18.7%
3位	削減率	18.5%
4位	削減率	18.2%

※削減率の高い削減項目、削減率50%以上の削減項目は削減率に大きく影響します。

2) 削減の仕組み 削減率に貢献した削減項目を挙げます。

削減項目	削減量	削減率	削減率
電灯削減	91kg	2.6%	4.7%
空調削減	137kg	3.9%	1.8%
給湯削減	489kg	14.1%	8.8%
その他削減	1743kg	50.4%	74.7%

ご家庭に合った省エネ項目をピックアップします。省エネ効果や光熱費の削減効果をも具体的な数字で見ることが出来ます。

### 次世代郊外まちづくり

「既存のまちの持続、再生」を目的に、地域住民、行政、大学、民間事業者の連携、協働によって「暮らしのインフラ」と「住まい」を再構築し、少子社会、高齢社会のさまざまな課題を一体的に解決していくことを目指していく従来にない参加型、課題解決型のまちづくり手法を進めるプロジェクトです。横浜市が推進している「環境未来都市」実現に向けた「環境未来都市推進プロジェクト」のひとつである「持続可能な住宅地モデルプロジェクト」として位置付けられています。

・次世代郊外まちづくり URL <http://jisedaikogai.jp/>

### スマートコミュニティ推進部会

「次世代郊外まちづくり」の主要な取り組みとして、快適かつ省エネルギーな街づくりを目指し、既成市街地における生活者中心のスマートコミュニティ化を目的に、横浜市と東急電鉄が民間企業などと共に2012年12月に設置した部会です。

以上